

四天王寺悲田院こども園・研徳田

悲田院こども園は、幼保連携型認定こども園として2年目を迎えます。

創立からの理念を大切に、コロナ禍で希薄になった人との『つながり』を取り戻し豊かな環境のもと、教育と保育を一体的に提供します。

また、「すべての子どもが子どもとして豊かに成長すること」を支えるため、地域子育て家庭のニーズを的確に捉え、各事業を展開してまいります。

～具体的な事業活動～

(1) 保育 ～子ども達の主体性を育む～

- ・子ども達の主体的な活動の援助を行い、自由な遊びの発想や展開につなげ子ども自らが作り出す遊びの充実を図ります。
- ・日常生活の中で、様々な人々と接し関わり、互いを認め・尊重しあえる環境づくりを行い、社会性や協調性を育てます。

(2) 人財育成 ～キャリアアップに向けて～

- ・DO-CAPシートを活用し、目標の管理、評価を行い宣言の具現化に努めます。
- ・保育者は子どもにとって常に見本であることを念頭に置き、自身の行動を客観的に捉えることができるようになると共に、互いに高め・尊重しあえるような関係性の構築に努める。
- ・外部講師等による研修の機会を設け、職員のスキルアップとモチベーションの向上につなげる。

(3) 地域貢献 ～安心への架け橋～

- ・コロナ禍で途絶えつつある以前の活気、人とのつながりを取り戻せるよう、いつでも気軽に立ち寄れるような居場所づくりを行います。また、子育て家庭で抱える問題や今のニーズに答えられるように、関係機関との連携を密に、専門性を発揮した支援を行います。

～改善活動～

(1) 保育の質の向上に向けて

- ・研修やセルフチェック等を活用し、園全体で保育を見つめ直し、安心・安全で統一した教育・保育を提供します。

(2) 業務改善について

- ・委員会活動の活性化や現状に沿った内容にマニュアル改訂を行います。
- ・保育の好循環化に向け、業務内容の見直しを図ります。